

日本語教師
のための



日常会話力がグーンとアップする

雑談指導 の ススメ

西郷英樹／清水崇文 著

Hideki SAIGO

Takafumi SHIMIZU



にほんごの
凡人社



もくじ

はじめに（雑談と学習者）.....v
登場人物紹介.....viii

Chapter 1 学習者の雑談状況を知ろう—留学生 106 人の声—..... 1

1. 雑談に関して留学生が直面している問題と日本語の授業への要望 ... 2
List 1 日本語の雑談のどんな点が難しいか（問題）.....2
List 2 どんな雑談指導があったらいいか（要望）.....6
List 3（おまけ）留学生が説く日本語雑談での心構え7
雑コラム① 日本人化？8
2. 留学生の雑談状況..... 9
① 雑談の相手.....9
② 雑談の話題.....10
a. 自分（留学生）に関する話題.....10
b. お互いに関する話題.....10
c. 第三者に関する話題.....10
d. それ以外の話題.....10
③ 雑談の場所.....12
④ 雑談タイプ.....14

Chapter 2 雑談力アップに役立つ語彙・表現..... 17

Unit 1 カジュアルに話す 19
カジュアルな話し方のテクニック20
テクニック①：助詞を省略する20
テクニック②：強調したいことを先に言う21
テクニック③：くだけた音に変える22
テクニック④：「～の」「～んだ」「～の？」を適切に使う25
Unit 2 初級形容詞をスラング的に使う28
リサイクル作戦.....28
いろいろな初級形容詞のリサイクル28
Unit 3 慣用句を使いこなす31
またまたリサイクル作戦.....31
慣用句を教えるときのアドバイス31

初級レベルの語の組み合わせの慣用句	32
「気」を使った慣用句	34
Unit 4 カタカナ語を使いこなす	36
カタカナ語は二流のことば?	36
カタカナ語って難しい?	36
知っておくと便利なカタカタ語リスト	38
Unit 5 副詞を使いこなす	41
副詞の威力	41
オノマトペ	42
オノマトペのリスト	42
オノマトペの使い方	44
オノマトペの音調に注意!	44
話し手の心の中の様子を表す副詞	45
話し手の心の中の様子を表す副詞の例	46
Unit 6 比べる表現を使いこなす	48
比較の表現	48
嗜好を表す「～派」	49
類似を表す表現	49
相違を表す表現	50
似ているものがないときの表現	50
雑コラム② 日本の意外なこと	51
Unit 7 自分の態度を前置きする	52
自分の態度を前置きする表現リスト	52
Unit 8 1つの話題について掘り下げて話す	55
教科書の語彙と雑談の話題	55
話題①: 天気・気候	56
天気・気候の具体的な話の始め方	57
身近な・個人的な事柄に結びつけられる語彙力	58
話題②: 恋愛	59
恋愛の具体的な話の始め方	62
雑コラム③ 留学生が作る口説き文句	64
Unit 9 日本人大学生が考える, 教科書にない便利なことば	65
大学生が使っている日本語	65
日本人大学生が考える便利な日本語	65
Unit 10 留学生が考える, 教科書にない便利なことば	71

Chapter 3 雑談力アップに役立つストラテジー	75
Unit 11 聞き取れなかった部分を聞き返す	77
ポイント①: 短く聞き返す方法	77
ポイント②: わからなかった箇所を聞き返す方法	78
ポイント③: 全部わかるわけがないと割り切る	79
雑コラム④ 口をきいてくれなくなったヤネック	80
Unit 12 考える時間を稼ぐ	81
フィラーを使う	81
ポイント①: 「ね」「さ」をつける	82
ポイント②: 相手の質問に「かなー」をつける	82
ポイント③: フィラーは自分から話し始めるときにも使える	82
ポイント④: フィラーを使いすぎない!	83
Unit 13 聞き上手になる	84
効果的に相づちを打つ	84
ポイント①: 相づちの前に「あ」「え」を入れる	86
ポイント②: 慣用的な相づちだけじゃつまらない	86
ポイント③: ノダを忘れずに	87
Unit 14 上手にリアクションする	88
雑コラム⑤ 昼食怖い	90
Unit 15 慣用リアクション表現	91
談話レベルの日本語	91
慣用リアクション表現	91
完結リアクション表現	92
未完結リアクション表現	93
Unit 16 ほめにリアクションする	95
ほめられやすいガイジン	95
アリガトウ系	96
謙遜系	96
ユーモア系	98
ほめ返し系	98
Unit 17 スムーズに割り込む	99
雑コラム⑥ そのタイミング?	101
Unit 18 自然に話題を変える	102
話題の変え方①: 今までの話題と関連の“ある”話題に変える	102
話題の変え方②: 今までの話題と関連の“ない”話題に変える	103
雑コラム⑦ 自分でもびっくりするようなウソ	104
話したい話題がないとき	105

Unit 19 相手との間に共通基盤をつくる―「ね」の戦略的用法― 106

具体的にネを使って何ができる？	107
ネの用法①：「考えてること、同じ？」用法	108
ネの用法②：「あなたの言いたいこと、よくわかる」用法	108
ネの用法③：「こんな状況なんだからさ」用法	109
ネの用法④：「もう知ってると思うけど」用法	109
ネの用法⑤：「度忘れ（勘違い）してるだけでしょ」用法	109
ネの用法⑥：「できるもんなら、同意してみて。フッフ」用法	110
ネの用法⑦：「私の皮肉、わかる？ ホホホ」用法	111
雑コラム⑧ 教師の役割って何？	112

Chapter 4 雑談タイプ別役立つ表現・ストラテジー 113

Unit 20 メイン雑談 115

メイン雑談の始め方	116
何について話し始めるのか	116
①話し手（自分）の事柄について話し始める	116
雑コラム⑨ メイン雑談はつらい	119
②相手の事柄について話し始める	120
③共通の事柄について話し始める	121
④第三者の事柄について話し始める	122
メイン雑談の終わり方	123
別れの挨拶リスト	123
ポイント①：「じゃ」	124
ポイント②：別れの挨拶に移る前に使える表現	124

Unit 21 時間つぶし雑談 125

雑コラム⑩ 外国人に対する意識の違い	128
--------------------	-----

Unit 22 ながら雑談 129

目に飛び込んでくる視覚的情報	131
----------------	-----

Unit 23 ワンクッション雑談 132

雑コラム⑪ 先手必勝？	134
-------------	-----

Unit 24 いきなり雑談 135

おわりに 139

はじめに（雑談と学習者）

『雑談の正体 ―ぜんぜん“雑”じゃない、大切なコミュニケーションの話―』（以下、『雑談の正体』）を読んでくださった日本語教育関係者の皆さま、お待たせいたしました！「えっ、なにその本？」と思った方、どうぞ本書と併せてお読みください。なぜなら、『雑談の正体』は、もともと「本書の一部」だったからです。（詳しい経緯は、『雑談の正体』の「あとがき」をご覧ください。）

『雑談の正体』では、雑談を多面的に分析することによって、「雑談は、本当に『くだらないおしゃべり』なのか」「雑談とは、いったいどのような特徴を持つ会話なのか」「雑談の何が、ビジネスや社会生活をうまくやっていくために、そんなに役に立つのか」といった疑問の答え、つまり「雑談の正体」に迫りました。また、「外国人が日本語で雑談するときにとどのような困難を抱えているのか」「日本語教育では雑談をどのように捉えているのか」といった問題についても、簡単に触れました。（ここまでが本書の「イントロ」になるはずでした。）

そして、いよいよ本書の出番です。本書では、日本語教師が外国人日本語学習者（以下、「学習者」）の「雑談力」アップの手助けをする方法（以下、「雑談指導」）についてご紹介します。（本書では、雑談をするために必要な能力の総体を、今風に「雑談力」と呼ぶことにします。）

そもそも「くだらないおしゃべり」であるはずの雑談のしかたを、なぜ貴重な時間を割いてまで日本語の授業で教えずにはいけないのでしょうか。

それは、雑談には「社会生活の潤滑油」ともいうべきとても大切な役目があるからです。確

かに雑談は、たわいもない話題について気楽に話すくだらないおしゃべりです。しかし、その多くは

当事者の間にラポール（信頼関係や心が通い合った状態）を生み出すことによって、良好な人間関係を育み、物事を円滑に運ばせるために

（『雑談の正体』p.26）

行われているのです。

今や日本には在留外国人が247万人（2017年）もいる時代です。彼らは日本で暮らし、日本で学校へ行ったり、働いたりしています。日本で「社会生活」を営んでいるのです。

社会生活を営むためには、周りの人々とのコミュニケーションが欠かせません。そうしたコミュニケーションは「日常会話」と呼ばれていますが、その大半を占めるのが「雑談」だと言ったら驚くでしょうか。

日本語教育も含めて、いわゆる「語学」の世界では、日常会話を「道を尋ねる」「レストランで注文をする」「医者に病状を伝える」といった特定の課題の遂行を目的とする会話と捉えている節があります。（なぜなら、教科書で取り扱われている「日常会話」が、こうしたものばかりだからです。）

しかし、日々の私たちの会話を注意深く観察してみれば、そうした「課題遂行会話」よりも、むしろ、特定の課題の遂行を目的とはしていない単なるおしゃべりが大部分を占めていることに気がつくでしょう。

それならば、学習者たちが社会生活をうまく営んでいくためには、課題遂行会話だけでなく、

こうした単なるおしゃべり（＝雑談）も上手にこなせるようになる必要があるでしょう。つまり、日本社会における生活者でもある学習者に対する日本語教育では、課題遂行会話だけでなく、「雑談」も会話指導の対象にすべきだと思うのです。

ところで、この「雑談」という代物、たわいもない話題について気楽におしゃべりすることでありながら、実は決して易しい会話ではありません。それは、毎年のように書店の棚に雑談のやり方を教えるハウツー本が並び、その中からベストセラーが何冊も出ていることから明らかです。日本人（日本語母語話者）の中にも雑談が上手になりたいと思う人が大勢いるくらいなのですから、外国人が日本語で雑談をするのはとても大変なことだということは容易に想像がつくでしょう。

外国人が日本語で雑談をするときには、私たち日本語母語話者にはない、外国語ならではの苦労があります。その原因は、例えば、日本語の授業では教えてくれない話しことば特有のくだけた文法やスラング的な単語の使い方であったり、その地方の方言や若者言葉であったりします。つまり、雑談に必要な「言語形式の知識」が足りないのです。また、雑談をスムーズに進めていくための「談話のストラテジーの知識」や、相手や場面による話題やスピーチスタイルの違いなどの「社会言語知識」、はたまた日本で雑談が期待される場面や好まれる話題などの「日本文化に関する知識」が不足していることも、雑談を難しくしている要因です。（詳しくは、『雑談の正体』第4章をご覧ください。）

雑談で上に挙げたような言語形式が頻繁に使われる理由は、雑談が「私的で気楽なおしゃべりである（公的でかしこまった会話ではない）」ことや、「ラポール（信頼関係や心が通い合った状態）を生み出し、仲間意識を醸成する目的

で行われる」ことと関係があります。（詳しくは、『雑談の正体』第3章をご覧ください。）そして、学習者、特に留学生たちが上手になりたいと思っている「周りの日本人学生と知り合い、仲良くなるための雑談」「友達関係を維持するための雑談」「ホストファミリーやバイト先の日本人と良好な関係を築くための雑談」などは、まさにこうした雑談の特徴を備えた典型的な雑談なのです。そのため、学習者、特に留学生に対する日本語の授業では、上述したような雑談特有の言語形式について積極的に教える必要があります。

本書では、学習者（留学生）の雑談学習のニーズを明らかにするために、彼らの雑談の環境と問題点を明らかにしたうえで（Chapter 1）、彼らが必要とする知識のうち、「雑談用の言語形式」と「雑談のストラテジー」を中心に、学習項目と指導のポイントを紹介します。「雑談用の言語形式」として取り上げるのは、文法のくだけた使い方、雑談の話題で使われる（しかし、教科書には出てこない）単語や表現、カタカナ語やオノマトペ、若者言葉、そして既習語彙のスラング的な使い方などです（Chapter 2）。一方、「雑談のストラテジー」としては、雑談の切り出し方と終わり方、相づちや質問などによるリアクションのしかた、スムーズな話題の換え方、聞き取れなかったときの効果的な聞き返し方などを取り上げます（Chapter 3）。雑談には、雑談をするために誰かと一緒にいる場合と、他の目的（主活動）のために一緒にいる人と雑談をする場合とがあります。後者は、さらに主活動と雑談との時間的關係によっていくつかのタイプに分けられます。こうした雑談のタイプごとに、よく使われる表現や役に立つストラテジーもまとめました（Chapter 4）。

本書が提案する「雑談指導」のすべてをみな

さんの日本語の授業に取り入れることは難しいかもしれませんが、自分が教えている学習者のニーズに合わせて、少しずつでも試してみてください。

きっと、周りの日本人と日々日本語で交流する必要がある学習者、もっと交流したいと願っている学習者たちが、楽しく雑談に興じるための大きな一歩を踏み出す手助けができるはずです。

登場人物紹介

本書の会話例に登場する主な人たちを紹介します。



名前： エマ

性別： 女性

年齢： 21 歳

出身： アメリカ合衆国

アメリカの大学の3年生。
現在は日本のJ大学に交換留学中。
田中あきさん宅にホームステイをしている。



名前： ミン

性別： 男性

年齢： 21 歳

出身： 中華人民共和国

J大学に学部留学中。
現在、2年生。



名前： ゆか

性別： 女性

年齢： 20 歳

出身： 日本

J大学の2年生。



名前： けん

性別： 男性

年齢： 20 歳

出身： 日本

J大学の2年生。



名前： 田中あき

性別： 女性

年齢： 48 歳

出身： 日本

エマのホストファミリー。

